

# やまちらくのう 山地酪農 × 林業

～牛と森と人のいい関係～

エンジニア科2年  
林産業コース  
中村奏太

## 背景と課題

### 畜産の課題

- ・ 飼料の調達  
→社会情勢により価格が左右される
- ・ 糞尿問題  
→堆肥にしても量が多く処理しきれない
- ・ 家畜の健康管理  
→狭い畜舎で病気の蔓延など

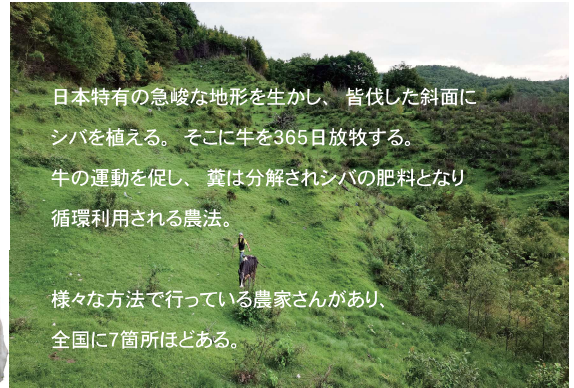
### 林業の課題

- ・ 人手不足  
→高齢化、後継者問題
- ・ 獣害問題  
→苗木が食べられてしまう
- ・ 広範囲な下草刈り  
→ヘクタール20～30万のコスト

2つを合体させたら下草刈りの手間と  
獣害が減るかも



## 山地酪農とは?



日本特有の急峻な地形を生かし、皆伐した斜面にシバを植える。そこに牛を365日放牧する。牛の運動を促し、糞は分解されシバの肥料となり循環利用される農法。

様々な方法で行っている農家さんがあり、全国に7箇所ほどある。

## 林業



森林文化アカデミー林業講師  
ユタ先生

### 林業の視点で見て、牛との共存はどう思いますか？

苗木の定植後、鹿が食べ荒らしてしまって植林の更新が進まない現実がある。牛が獣害よけになるなら、可能性は期待できるよ。

- ・ 獣害対策の鹿柵の中で、牛を飼育したらちょうど良さそう。
- ・ 里山の耕作放棄地なども活用できそうだね。

### 疑問

- Q1. 牛が針葉樹を食べてしまわないのか
- Q2. 糞はちゃんと分解されるのか
- Q3. 獣との感染症などは起こらないか
- Q4. 水はどこから引いてくるのか

## 山地酪農



岩手県  
多野畑山地酪農牛乳(株)  
吉塚農場



長野県根羽村  
ハッピーマウンテン 幸山さん  
牛を自然と人がつながる手段として飼育

- ・ ビジネス化に成功している
- ・ ネイチャーガイドで通年収入
- ・ 牛との触れ合い体験  
→牛は人と自然の繋ぎ手
- ・ きのご販売、松葉販売など  
→レストラン、都市部への出荷

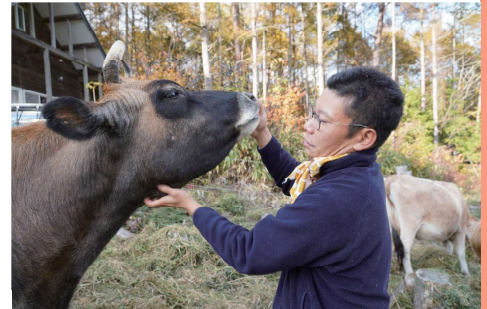
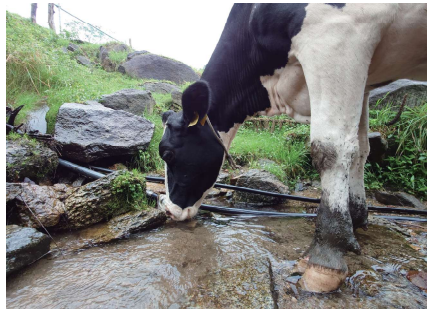
- ・ 牛、人が山に入ることにより、畑の獣害が減ったという近隣住民からの声がある
- ・ 笹で覆われて人が入れなかったところも、牛がきれいにした実績がある→下草刈り可能!

聞き込み

- A1, 食べないけどイタズラするかも→要検証
- A2, かなりのスピードで分解される
- A3, 今の所ない
- A4, 放牧地に沢がないと厳しい

新たな問題浮上

- ・ 両立するには人手が必要  
→山地酪農で手一杯
- ・ 急峻すぎて事故が起きたこともある  
→事故が起きても助けられない
- ・ 踏圧被害があるかもしれない→要検証



調査の結果 ①踏圧問題、②針葉樹の苗木への影響を要検証。 ③急峻すぎず、④沢が流れている土地があれば  
山地酪農 × 林業は実現可能性がある

## 提案

ビジネスモデルの提案

### レンタ牛

育成・乾乳期の乳牛を貸し出す

ベース放牧地



乳を加工

スタッフに必要な技量

- ・ 自然を大切にしたい人
- ・ 牛の飼育ができる人
- ・ ネイチャーガイドの  
できる人



森林組合  
林業経営者

夏の副収入

自然体験活動

小学校など

通年収入



乳製品加工工場  
(シェア工房)

通年収入 (メイン)

### 感想、謝辞

自分は高校で畜産を実践的に学びました。その中で、現代の畜産のあり方に疑問を持ったのが山地酪農との出会いです。その後森林文化アカデミーに入り、アカデミーで林業の課題を学びました。その学びを結びつけることができ、有意義な研究になりました。将来は農、畜、森が人を通して循環する場を作りたい、と考えています。この研究を通して得た知識や、新たに出会った方々など自分の将来に生かしていきたいです。この研究を進めるにあたりご指導を頂いた松井匠先生に感謝します。また、調査にご協力頂いた、多野畑山地酪農牛乳吉塚様、ハッピーマウンテン幸山様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。